



おかむら通信 171号

令和元年7月号



ご挨拶

みなさんまたまたまた、こんにちは、お元気ですか？世の中の悪行のかずかずばかり気になっていては、自分の体を壊すばかりと、最近わかつてからすこし気持ちが楽になってきました。みなさん、一緒に人生を考え、こつこつと。前向きに生きてゆきましょう。

今月の言葉

患者としても長年生きてこられた方の至言「何物にも代えがたいもの、それはこころからの医療関係者のやさしい言葉」

(50年看護師をされていて、様々な経験をされた方より)

今大変な時代にはまり込んでしまった中で、人々は光か闇のどちらかに存在している。闇の人々は光が見えない（良いことが見えない）。長い戦いののち必ず光が勝つのだそうです。（人間の歴史をみると）

(ある世界的に有名なエコノミストの言葉より)

院長より

●
絶対に脳溢血にならない、誓いを建てましょう。我々は協力を惜しまないつもりです。

ものごとは常に多角的にとらえましょう。そうするとより正確な内容が見えてきます。

やっぱり、じぶんで考えることを習慣にしましょう。

そして毎日何らかのちいさな改革を求めてゆきましょう。

◎

ロキソニンなどの鎮痛薬は、一般に喘息の引き金になるといわれ、関西の方では忌み嫌われるお薬のようです。常用はしないようにしましょう。

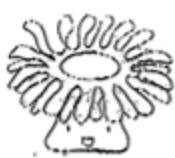
今、庸介先生と来年4月からどのように仕事分担をしようか、など検討中であります。

▼

そう誰が作ったのでしょうかね、この我々人間の体を、、、

いま、シリアから来られた女性が松戸にいます、世界平和に寄与するためにロータリークラブの試験に受かって世界平和フェローになるべく、猛勉強をされています。ついこの間ジンバブエに帰られたナターシャの後任になれるかな？





院長の私は、世界に勉強に行きたい、ヒューストン（米国）、ハワイ（米国）、フィンランド、オーストリア、ルーマニア、フランス、、かな、もっともっと医療のすすんだところがあるに違いない、幼稚園児までがコンピューターを使いこなし、あらゆる情報が国民のためにオープンになっているところが、あるらしい。

○ 血圧の情報は、クリニック以外での値が大事です。その測定はいつでもいいのです、随時血圧です。皆さんがはかれる時間に測定してください。

運動・体操・ストレッチ・散歩はほぼすべての病気の予防に欠かせないものですね。

*

つくづく思いますね、病気を治すのは、共同作業。患者さんと医療関係者の。

☆彡

若い人におすすめなのは、武者修行です。他流試合です。自分の狭い環境の中に閉じこもっていてはいけません。できるなら世界に行きましょう。どうってことないですよ。みんな地球人ですから。たまに宇宙人もいますが。

▼

6月の院長の活動

- 2/ (日) 夕 國際ロータリー平和フェロー・ナターシャ（ジンバブエ）送別会 銀座
- 3/ (月) 昼 松飛台小学校 健診
- 10/ (月) 昼 当院カンファレンス
- 11/ (火) 昼 松戸国際高校 検診
- 16/ (日) 夕 保険医協会 浜 矢子 氏 講演 千葉市
- 17/ (月) 夕 難病協力指定医 手続き 当院
- 20/ (木) 松戸中央 RC 移動例会 日光
- 23/ (日) 夕 岡村庸介ドクターと来年度の診療体制打ち合わせ 当院
- 27/ (木) 朝 松戸市総合医療センター神経内科福嶋先生と
夕 糸東流空手稽古 馬橋
- 29/ (土) 夕 純酔会（順天堂第一外科同門）埼玉県 寄居
- 30/ (日) 夜 松戸市夜間小児急病医療センター勤務／松戸市総合医療センター



毎日雨が降って、シメシメと湿気が強くなっています。
体調も崩しやすくなりますので、水分と睡眠をよくして、
楽しい夏を迎えましょう。
私はスキューバダイビングが好きなので、夏が待ち遠しいです。



担当石原